

第9回 湖岸生態系保全・修復研究会

「南湖生態系の長期変化と水草繁茂」

趣旨

琵琶湖南湖では水草の大繁茂が社会問題化しており、水草をどう管理していくかが課題となっています。そのため、滋賀県では昨年、「水草繁茂要因解析検討会」を開催し、水草管理の在り方について議論が行われました。また琵琶湖環境科学研究センターでも、水草繁茂について、これまで何度か研究会を開催しています。

しかし多くの場合、水草の大繁茂だけが問題とされることが多く、南湖生態系を一つの系としてとらえた視点からの意識が希薄でした。

そこで、南湖生態系全体を見通した上で、プランクトンや魚類、底生動物など他の生物群の長期変遷や、水草がほとんど消失した諏訪湖の事例も含め、時間軸を含めた視点で水草の問題を考える研究会を計画しました。

日時：平成22年2月19日(金) 13:15～16:45

場所：びわ湖大津館（大津市柳が崎5-35）多目的ホール「桃山」

プログラム

1. あいさつ（琵琶湖環境科学研究センター長 内藤正明）13:15-13:20
2. 南湖の水質とプランクトンの長期変遷（琵琶湖環境科学研究センター 環境監視部門 主任専門員 一瀬 諭）13:20～13:45（25min）
3. 南湖における水草の長期変遷（滋賀県立琵琶湖博物館 専門学芸員 芳賀裕樹）13:45～14:10（25min）
4. 南湖における迷惑昆虫アカムシユスリカの消長（琵琶湖環境科学研究センター 総合解析部門長 西野麻知子）14:10～14:30（20min）
5. 南湖水草帯のプランクトンとカビ臭の原因物質ジェオスミン（財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構 研究所次長・調査研究部長 久納 誠）14:30～14:55（25min）
- < 休憩 15分 >
6. 湖底耕耘による水草異常繁茂の抑制効果と魚貝類への影響（滋賀県水産試験場 主任主査 井戸本純一）15:10～15:35（25min）
7. 諏訪湖生態系の長期変遷と、近年の水草問題（信州大学 山岳科学総合研究所 教授 花里孝幸）15:35～16:05（30min）
8. 琵琶湖における沈水植物種の入替わりと将来予測（滋賀県立大学環境科学部 准教授 浜端悦治）16:05～16:20（15min）
9. 総合討論 16:20～16:45（25min）